



## 平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成27年11月2日

上場取引所 東

上場会社名 伊藤忠食品株式会社

コード番号 2692 URL <http://www.itochu-shokuhin.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 星 秀一

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経営企画本部長 (氏名) 酒井 健雄 TEL 03-5411-8513

四半期報告書提出予定日 平成27年11月6日 配当支払開始予定日 平成27年12月2日

四半期決算補足説明資料作成の有無：有

四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家、証券アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成28年3月期第2四半期の連結業績（平成27年4月1日～平成27年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	328,216	5.0	1,557	4.9	1,937	0.6	1,189	△7.9
27年3月期第2四半期	312,503	△1.7	1,485	18.7	1,926	9.9	1,291	△6.9

(注) 包括利益 28年3月期第2四半期 1,867百万円 (△8.6%) 27年3月期第2四半期 2,043百万円 (6.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第2四半期	92.65	—
27年3月期第2四半期	100.58	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第2四半期	225,099	76,260	33.9
27年3月期	203,208	74,829	36.8

(参考) 自己資本 28年3月期第2四半期 76,216百万円 27年3月期 74,786百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	34.00	—	34.00	68.00
28年3月期	—	35.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	35.00	70.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 平成28年3月期の連結業績予想（平成27年4月1日～平成28年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	640,000	3.6	3,400	△7.4	4,300	△4.6	2,800	8.5	218.11

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	28年3月期2Q	13,032,690株	27年3月期	13,032,690株
② 期末自己株式数	28年3月期2Q	194,980株	27年3月期	194,889株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	28年3月期2Q	12,837,772株	27年3月期2Q	12,837,871株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づくレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績予想は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10
4. 補足情報	10
販売の状況	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

第1四半期連結累計期間より、「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日）等を適用し、「四半期純利益」を「親会社株主に帰属する四半期純利益」としております。

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間（平成27年4月1日から平成27年9月30日）におけるわが国経済は、政府の経済政策を背景に企業収益や雇用・所得環境に改善の動きが見られるなど、景気は緩やかな回復基調で推移しましたが、新興国経済の成長率鈍化や欧州における金融情勢の不安定さなどから、先行きは不透明な状況が続いております。

食品流通業界におきましては、訪日外国人数の増加や消費増税後の消費マインドに一部持ち直しの動きが見られるなど、明るい兆しが出てきているものの、業種・業態の垣根を越えた競争激化に加え、輸入原材料の高騰や人手不足によるコスト上昇懸念など、依然として厳しい事業環境が続いております。

このような状況の中、当社グループは前期に引き続き「コンプライアンス」と「安定収益の確保」をミッションに掲げ、健全な企業収益の基盤となるコンプライアンスの徹底と、売上総利益に対する経費率の改善に注力するとともに、卸として新たな付加価値の創造にチャレンジし、新しい商品の発掘・開発を進めることで提案力向上に取り組んでまいりました。具体的には、安全・安心で美味しい日本各地の地域産品を発掘し、これを全国に向けて発信、販売するという「地産全消」を目指した「地域産品プロジェクト」や、ブランド商品開発、健康志向の商品企画・提案などを推進してまいりました。

当第2四半期連結累計期間の売上高は、コンビニエンスストアなど組織小売業との取引増加等により、前年同期比較5.0%（157億13百万円）増加の3,282億16百万円となりました。

利益面では、物量の増加とコストアップにより物流経費が増加したものの、売上総利益額のアップにより、営業利益は前年同期比較4.9%（72百万円）増加の15億57百万円となりました。また、親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期に特別利益に計上した有価証券売却益がなくなったことなどにより、前年同期比較7.9%（1億1百万円）減少の11億89百万円となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## ①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は2,250億99百万円となり、前連結会計年度末に比べ218億91百万円の増加となりました。これは、季節要因により売上債権が56億35百万円、未収入金が41億40百万円、棚卸資産が23億64百万円、それぞれ増加したことなどによるものであります。

負債は、1,488億39百万円となり、前連結会計年度末に比べ204億60百万円の増加となりました。これは、資産の増加と同様の要因により、仕入債務が158億40百万円増加したことなどによるものであります。

純資産は、762億60百万円となり、前連結会計年度末に比べ14億30百万円の増加となりました。これは、利益剰余金が増加したことなどによるものであります。

## ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は、210億50百万円となり、前連結会計年度末に比べ38億81百万円の増加となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、47億46百万円の収入（前年同期は48億48百万円の収入）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益19億12百万円ならびに季節要因による仕入債務の増加によるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フローは、2億0百万円の支出（前年同期は2億30百万円の支出）となりました。これは主に、固定資産の取得によるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フローは、6億64百万円の支出（前年同期は6億21百万円の支出）となりました。これは主に、配当金の支払いによるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年4月30日に公表いたしました平成28年3月期の連結業績予想に変更はありません。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
(会計方針の変更)  
(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。）等を第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しております。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更しております。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

これによる損益に与える影響はありません。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,388	4,180
受取手形及び売掛金	74,153	79,788
商品及び製品	11,882	14,246
未収入金	20,872	25,012
関係会社預け金	38,400	41,900
その他	1,204	615
貸倒引当金	△97	△119
流動資産合計	150,803	165,624
固定資産		
有形固定資産	17,488	23,398
無形固定資産	1,162	1,106
投資その他の資産		
投資有価証券	21,400	22,590
退職給付に係る資産	1,532	1,586
その他	11,111	11,062
貸倒引当金	△290	△268
投資その他の資産合計	33,753	34,970
固定資産合計	52,405	59,475
資産合計	203,208	225,099
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	107,732	123,573
1年内返済予定の長期借入金	20	20
未払法人税等	1,262	331
賞与引当金	982	818
役員賞与引当金	59	33
その他	11,217	10,438
流動負債合計	121,274	135,214
固定負債		
長期借入金	118	108
設備休止損失引当金	493	493
資産除去債務	427	521
退職給付に係る負債	386	384
その他	5,678	12,118
固定負債合計	7,104	13,625
負債合計	128,379	148,839

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,923	4,923
資本剰余金	7,162	7,162
利益剰余金	55,243	55,995
自己株式	△584	△585
株主資本合計	66,744	67,497
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	7,990	8,667
退職給付に係る調整累計額	51	51
その他の包括利益累計額合計	8,041	8,718
非支配株主持分	43	43
純資産合計	74,829	76,260
負債純資産合計	203,208	225,099

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
売上高	312,503	328,216
売上原価	296,233	311,042
売上総利益	16,269	17,174
販売費及び一般管理費	14,784	15,616
営業利益	1,485	1,557
営業外収益		
受取利息	84	92
受取配当金	178	177
不動産賃貸料	164	137
持分法による投資利益	42	15
その他	110	101
営業外収益合計	580	525
営業外費用		
支払利息	29	34
不動産賃貸費用	91	64
リース解約損	4	35
その他	14	11
営業外費用合計	139	145
経常利益	1,926	1,937
特別利益		
投資有価証券売却益	31	—
固定資産売却益	13	—
特別利益合計	44	—
特別損失		
減損損失	—	25
特別損失合計	—	25
税金等調整前四半期純利益	1,971	1,912
法人税、住民税及び事業税	563	328
法人税等調整額	115	394
法人税等合計	679	722
四半期純利益	1,292	1,190
非支配株主に帰属する四半期純利益	0	0
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,291	1,189

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)
四半期純利益	1,292	1,190
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	729	692
退職給付に係る調整額	21	0
持分法適用会社に対する持分相当額	0	△15
その他の包括利益合計	751	677
四半期包括利益	2,043	1,867
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,042	1,867
非支配株主に係る四半期包括利益	1	0

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	1,971	1,912
減価償却費	886	1,018
持分法による投資損益 (△は益)	△42	△15
投資有価証券売却損益 (△は益)	△31	—
固定資産売却損益 (△は益)	△13	—
減損損失	—	25
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	19	△8
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△204	△189
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△7	△37
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△110	—
受取利息及び受取配当金	△262	△270
支払利息	29	34
売上債権の増減額 (△は増加)	3,866	△5,039
たな卸資産の増減額 (△は増加)	2,864	△2,121
未収入金の増減額 (△は増加)	△958	△4,092
差入保証金の増減額 (△は増加)	△39	△48
仕入債務の増減額 (△は減少)	△2,529	15,181
その他	△128	△512
小計	5,308	5,834
利息及び配当金の受取額	239	232
利息の支払額	△29	△33
法人税等の支払額	△669	△1,286
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,848	4,746
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
預け金の預入による支出	△3,000	△2,000
預け金の払戻による収入	3,000	3,000
有形固定資産の取得による支出	△102	△1,677
有形固定資産の売却による収入	81	913
無形固定資産の取得による支出	△175	△117
無形固定資産の売却による収入	0	0
投資有価証券の取得による支出	△67	△339
投資有価証券の売却による収入	89	0
その他	△56	20
投資活動によるキャッシュ・フロー	△230	△200

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△20	△10
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△164	△217
配当金の支払額	△436	△436
非支配株主への配当金の支払額	△0	△0
その他	△0	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△621	△664
現金及び現金同等物に係る換算差額	0	△0
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	3,996	3,881
現金及び現金同等物の期首残高	20,164	16,758
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	410
現金及び現金同等物の四半期末残高	24,161	21,050

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年9月30日)及び

当第2四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年9月30日)

当社及び連結子会社の報告セグメントは、食料品卸売事業のみであり、他の事業セグメントの重要性が乏しいため、記載を省略しております。

## 4. 補足情報

販売の状況

## ①商品分類別売上高

商品分類	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)		当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)		増減	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	率
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
ビール	77,771	24.9	80,665	24.6	2,894	3.7
和洋酒	43,594	13.9	44,679	13.6	1,084	2.5
調味料・缶詰	46,143	14.8	47,407	14.4	1,263	2.7
嗜好・飲料	71,861	23.0	79,974	24.4	8,112	11.3
麺・乾物	27,366	8.8	28,204	8.6	838	3.1
冷凍・チルド	10,755	3.4	12,368	3.8	1,613	15.0
ギフト	24,819	7.9	24,690	7.5	△128	△0.5
その他	10,190	3.3	10,225	3.1	35	0.3
合計	312,503	100.0	328,216	100.0	15,713	5.0

(注) 発泡酒及びビール風アルコール飲料(第3のビール)の売上高は「ビール」に含んでおります。

## ②業態別売上高

業態	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)		当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)		増減	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	率
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
卸売業	43,863	14.0	43,595	13.3	△267	△0.6
百貨店	11,149	3.6	14,300	4.4	3,150	28.3
スーパー	181,215	58.0	188,873	57.5	7,658	4.2
CVS・ミニスーパー	54,223	17.4	59,006	18.0	4,783	8.8
その他小売業	9,130	2.9	9,519	2.9	388	4.3
メーカー他	12,921	4.1	12,921	3.9	△0	△0.0
合計	312,503	100.0	328,216	100.0	15,713	5.0